

平成 29 年度 狛江市市民活動支援センター第 2 回運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 7 日 (水) 午後 7 時～午後 8 時 30 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委 員 伊藤輝芳 伊藤聡子 上田英司 内海貴美 荻野修 高橋英史
高橋宗孝 松村正俊 松村雪子 三島瑞子
事務局 小楠寿和 志田五十鈴 白石珠美 高橋善治 中里紀男 日比野浩
(50 音順 敬称略)
- 4 欠席者 委 員 大矢美枝子 佐藤新哉 田部井則人 西岡邦子 羽田野英博 渡辺敏政
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 1 報告事項
①指定管理業務の報告について
②専門部会からの報告について
- 2 協議事項
①平成 29 年度 アンケート調査について (案)
②小委員会設置に関するガイドラインについて (案)
- 3 その他
①運営委員の改選について
②事業報告に伴う事業評価について
- 7 配布資料 資料 1 : 狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書
資料 2 : アンケート調査票 (案)
資料 3 : 小委員会設置に伴うガイドライン (案)

8 会議概要

1. 開会

- (1) 委員長あいさつ
委員長からあいさつがされた。

2. 議題

- (1) 報告事項
①指定管理業務の報告について
— 資料 1 に基づき、事務局より説明。—

(課題)

行政からの相談増えている

→ボランティア・市民活動について、行政職員にも繰り返し理解を求めていくことが必要となっている

— 質疑 —

なし

②専門部会からの報告について

事務局より説明

◇広報部会

- ・ 12月～2月末までで編集会議を4回。第4号に向けて活動。
- ・ 1月に取材、原稿執筆等を行った。
- ・ 4号の内容は、特集は「防災」防災のノウハウというよりは、日頃の繋がりが大事という視点で、様々な人へのインタビュー、小さなお子さんがいるお母さんの座談会など組んでいる。1面はこまえくぼの発信のページ。年度末なので「3年生に進級」というタイトルで、市長からのコメントと、利用・関係団体からの通信簿をいただいた。

◇「情報」部会

- ・ 1名部員が増えた。
- ・ 人数が少なくなると、意見交換が活発になる。
- ・ ホームページで情報発信したいという団体で、実際にホームページ利用に直結した団体は実は少なく、情報発信の仕方や、ホームページ昨日の活かし方などの相談が多い。
- ・ これまで、職員が対応してきたが、市民が対応できるような仕組みを部会では作っていく。
- ・ 岩戸地域センターでホームページ説明会を実施予定。こまえくぼのホームページを作成し、発信してみる「実践編」。3月28日午後を予定。
- ・ こまえくぼのホームページを少しずつブラッシュアップしている。こまえくぼの予定をカレンダーにするなど。そうしたホームページのブラッシュアップについても部会で検討している。

◇体験学習部会

- ・ ニーズ調査を行っている。
- ・ 体験学習の地域資源を、カードにする。フォーマットを作成。
- ・ 企業のCSRで体験学習をしていることが解ったが、福祉的な体験については、社協（こまえくぼ）が対応していく必要がまだある。学校指導要領などを見ると、今後ニーズは増えそうなので、地域の人の力をかりながら対応していきたい。

- ・30年度はまず、車いす体験を地域で出前講座を行い、参加者に協力を呼び掛けていく。

— 質疑 —

なし

(2) 協議事項

①平成29年度アンケート調査について（案）

— 資料2に基づき、事務局より説明。 —

平成28年度は施設に関するアンケート（ハード）と、運営に関するアンケート（ソフト）の2つのアンケートを実施した。

平成29年度はこの2つのアンケートを合わせて1つのアンケートとして実施する。

前回からの比較などのために、内容としてはあまり変更せず、両アンケートで重複するものを整理した（案）となっている。追加や修正などご意見があれば、3月14日（水）までに事務局に連絡をいただきたい。

②小委員会設置に関するガイドラインについて（案）（事務局高橋）

— 資料3に基づき、事務局より説明。 —

— 質疑 —

なし

4. その他

①運営委員の改選について

（事務局）

平成30年4月30日をもって、今期の委員の任期が満了、改選となる。

運営委員会の選出区分として、あらたに公募と学識経験者を含める方向で検討している。それにともない、今の委員の選出区分についてもかなり細かい部分があるので、見直しを行っている。

改選時には、再度ご依頼することもあると思うので、ご協力お願いしたい。

（委員）

委員の依頼は、選出母体への依頼になるか。

（事務局）

団体へ依頼をする場合は、選出母体となる団体へ依頼する予定。

（委員）

公募委員を入れることなど、社協に対して提案することもできるのが運営委員会だと思うので、運営委員会で聞いて最終的に社協で決定するというかたちになるとよいのではないかと。

(事務局)

正副委員長とも相談しながら進めてきたところがあるが、具体的に何かご意見や提案があれば、いただければと思う。現時点では、最終社協の中で決定がされているというわけではなく、社協の理事会で決定となる。

(副委員長)

今回は、初めての改選となる。現在の区分についてはかなり細かい区分になっているため、やりにくい部分もあったと思うが、委員からのご意見のとおり、この委員会にどのような方に加わってほしいかなどは、この委員会の中でも議論ができたらと思う。この点については、来期の課題になると思う。

(委員)

選出母体となる団体へは、いつごろの依頼になるか。

(事務局)

運営委員会に関する要綱を改正してからになるので、早くても3月末頃から。

(副委員長)

公募のスケジュールはどうなっているか。

(事務局)

現在のスケジュールだと、他の委員と同じタイミングでお願いするのは難しいため、5月に入ってからからの任期になる可能性が高い。

(委員)

公募の募集主体はどこになるか。

(事務局)

運営委員の任命者は、社会福祉協議会会長であり、社協で募集・選考する。

(委員)

最終的な決定をするのはどこになるのか。社協の理事会か評議委員会か、責任と権限がわかると、ここに関わるうえでありがたい。

(事務局)

最終的には理事会・評議委員会で決定される。

(委員)

団体の改選時期が6月になるので、運営委員会と時期がずれるが。

(事務局)

そのような場合は、旧委員で対応後に、新委員に引継ぎしていただきたい。

②事業報告に伴う事業評価について

(三島委員長)

昨年からの課題になっている、市民活動支援センターの事業評価については、次年度以降も勉強会な

ど引き続き取り組んでいきたいと思う。

また、前回羽田野委員から提案のあった、元気スクールの件について、その後個人的に関わっており、こまえの高齢者のために精力的に活動をつづけていることを、ご報告させていただく。

③事業・催しのお知らせ

- ・公民館のつどい（3／9）
- ・わくわくサロン（3／11）
- ・アートな1日（3／17）

次回の運営委員会の日程は、4月23日（月）19時00分開始。